

日刊 人吉新聞

発行所
人吉新聞社

〒868-0072人吉市西間下町112-3
電話(0966)24-2111(代)
FAX(0966)24-2113(代)
(HP) www.hitoyoshi-sharepla.com
(E) dahyou@hitoyoshi-press.com

土曜 レポート

世界かんがい施設遺産 守り、生かし次世代へ

日本三急流の「球磨川」から取水し、球磨郡南部の農地2882
診に水を運ぶ幸野溝と百太郎溝。水田開発を目的として約300年
前に血のじむ思いで先人が開発し、大切に守り続けられているこ
の両水路群が昨年12月、国際かんがい排水委員会(本部・インド)
の「世界かんがい施設遺産」に認定、登録された。(石井 淳一)

先人の努力に感謝

農地潤す幸野溝と百太郎溝

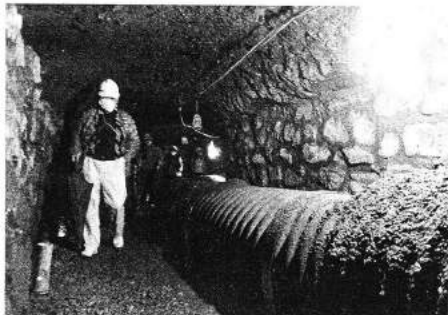
●価値ある施設
世界かんがい施設遺
産は、建設から100
年以上経過し、かんが
い農業発展への貢献、
卓越した技術により建
設されたなどの歴史
的、技術的、社会的価
値のある施設が対象と
なる。
両水路群は、①300
0年以上②隧道3本
(幸野溝旧取入堰と幸
野溝隧道、百太郎溝)



幹線水路延長18・9㌦の百太郎溝



幸野溝の幹線水路総延長は15・4㌦



3本の総延長が2524㌦に及ぶ隧道



百太郎公園に残っている石造の旧樋門

れて光栄」などの声か
聞かれたという。
百太郎溝土地改良区
(組合員数1753人)
の岡村文明理事長は
「先人が血のじむ思
うな思いで造り、守
ってきた施設が認めら
れ、感謝感激で大変
ありがたい」と話した。
●水路群の貢献
幸野溝の旧取入堰は
1705年、隧道17
05年、百太郎溝は1
710年に供用開始。
百太郎溝は政府(幕
府)からの支援援助も
ない中で農民総出によ
る手掘りで建設され、
幸野溝は政府による工
事だが、百太郎溝の民
による成功と技術を参
考に進めたといわれる。
陸稲やサツマイモな
どの畑地帯が、堰、隧
道、水路群からなるか
んがいシステムが建設
されると、食料生産量
が大きく増加し、生計
向上、貧困削減、農村
発展に貢献した。
幸野溝水路群(幹線
水路総延長15・4㌦、
かんがい面積1379
㌦)は湯前町、多良木
町、あさぎり町、百太
郎溝水路群(同18・9
㌦、同1443㌦)は
多良木町、あさぎり町、
錦町に水を運び、米、
タバコ、メロン、イチ
ゴ、キクなどが生産さ
れている。

考④食料生産量は一方
人分増加⑤住民一体で
維持管理が登録要
因。
組合員から「素晴らしいこと」「普段自らが
使っている施設が選ば
れたい」と話した。

●地域で守る
幸野溝土地改良区
(宮原辰紀理事長、同
1456人)の富田道
孝次長は「価値が知ら
れていない」と申請に
至った理由を振り返
る。
農業への多大な貢献

だけでなく、防火用
水、大雨の洪水受け入
れのほか、四季折々の
表情を見せる田圃の景
観は人の心を育む。
多面的機能の恩恵を
当たり前のように享受
しているが、守られて
きたもの。農業は高齢
化が進むほか後継者が
少なく、これまでにお
り維持管理できるのか
考えないといけない。
百太郎土改区の市田
秀樹事務局長は「農家
だけでなく地域を巻き
込んだ体制づくりが必
要です。組合員の若手
育成も重要ですし、多
面的機能支払交付金の
活用も大事です。
農業や地域を支える
水路で地域全体で保全
することが必要だと周
知・啓発することなど
を目的に、3月25日に
ウオーキングイベント

を開催した。
●地域の起爆剤に
幸野溝土改区の野村
信夫事務局長は「個人
的な考えだが、世界か
んがい施設遺産で出来
た来などと農産物など
のブランド化が可能な
いか」と知恵を絞る。
両溝が通る多良木町
の古瀬浩一郎町長は
「人口減少社会の中、
相良氏の歴史と伝統を
受け継ぐ日本遺産、世
界かんがい施設遺産を
活用し、英知を結果集
して住民の皆さまと考
え、人が集まり、若い
人を呼び込める魅力あ
る町をつくりたい」と
話す。

宮原理事長は「登録
を生かさない」と意味は
ない。地域と力を合わ
せて活性化することが
大事であり、苦勞され
た先輩への供養。先人
の大切な遺産を次世代
に引き継ぐ義務と責任
がある」と話した。